

**製品名: CA VIII ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab07773**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用****希釈倍率** WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000**分子量****抗原情報**

遺伝子名	CA8
別名	CA8; CALS; Carbonic anhydrase-related protein; CARP; Carbonic anhydrase VIII; CA-VIII
遺伝子 ID	767.0
SwissProt ID	P35219
免疫原	ヒト CA VIII の内部領域から得られた合成ペプチド。

**背景**

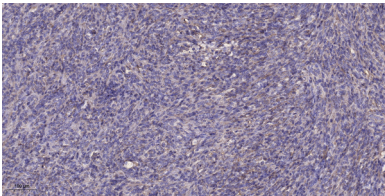
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、他の既知の炭酸脱水酵素遺伝子との配列類似性から、当初 CA 関連タンパク質と命名された。しかし、この遺伝子産物は炭酸脱水酵素活性（すなわち、二酸化炭素の可逆的な水和）を欠いている。この遺伝子産物は、

炭酸脱水酵素遺伝子ファミリーの他のメンバーとの明らかな配列同一性に基づき、炭酸脱水酵素の名称を継承している。神経学的欠陥を持つマウスのラーチャー変異体の小脳で CA8 遺伝子の転写が欠如していることから、この無触媒型が重要な役割を担っていることが示唆される。この遺伝子の変異は、小脳性運動失調、精神遅滞、および平衡異常症候群 3 (CMARQ3) と関連している。この遺伝子の多型は骨粗鬆症と関連しており、骨肉腫細胞におけるこの遺伝子の過剰発現は、発癌性役割を示唆している。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じる。 [providedfunction:炭酸脱水酵素の触媒活性を持たない。 ,similarity:α-炭酸脱水酵素ファミリーに属する。 ,

## 研究分野

窒素代謝;

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°Cで一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、45 分)。